

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。
		※ 提出された情報は、海外留学 HP に掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	香港中文大学 (国名: 香港)	
留学先学部名(またはプログラム名)	International Asian Studies Program	
留学期間	2014 年 8 月 ~ 2015 年 4 月	
学部/学府・年次	工学部エネルギー科学科→21 世紀プログラム	2 年次 ~ 2 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	有 (期間: 1 年間)	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4 年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため 4. その他(具体的に記入) もともと工学部に所属していたが、工学部では必修単位の交換が認められないため、留年が確定していた。工学部の授業にも面白みを感じていなかったため、結局同じ学年ならばと 21 世紀プログラム 2 年次に転過程したため。	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?		
進路の予定	1. 就職 ( 時期: ( 18 ) 年 ( 4 ) 月から) 2. 大学院進学( 大学 学府/研究科 ) 3. その他(具体的に: )	
前項で1と答えた方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)	就活時期は、2016 年 10 月頃から外資系戦略コンサルティング会社をメインに受け始める。とりあえず日系企業の採用時期である 2017 年 3-7 月にもある程度就活をして最終的な進路を考える。	
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?		
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?		
1. 留学先大学について		
授業(カリキュラム等)の概要について	<p>授業は英語で行われている一般的な授業に混ざる形式で受けます。自分の学部に関係なく、なんでも自由に取れます。(Business Administration は人気であるため、ビジネス系専攻でないともあまりとれません。) 授業は大きく分けて 3 つの種類があります。</p> <p>①グループワークが多めの授業(Business Administration 系、メディア系、Chinese Studies など): 知識の獲得だけでなく、グループワークを通して、チームで作業を終わらせる訓練もさせることも狙いとしている。一緒に遊びにくい友達ができやすい。</p> <p>②座学形式の授業 (Engineering, Anthropology など): 日本の授業形式に近い。友達ができづらいかもかもしれない。</p> <p>③中国語・広東語: 語学習得用のクラス。授業だけでなく、Web 学習もする。日本に比べて先生もテキストも良質であるとのこと。先生は授業中ほとんど中国語で話すが、だんだん慣れていく。</p> <p>一般的には、香港人 5 割、中国人 3 割、その他インターナショナル 2 割ほどの構成になる場合が多いです。日本人学生は、全国各地からだいたい 40 人ほどいます。</p>	

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>語学面: ①英語なら ELTU という英語を勉強できるコースがあり、周りの香港人は少し訛りがありながらもある程度ちゃんと英語をしゃべれるので、なかなか授業も大変らしいですが、きちんとやれば実力がつくといっていた人もいました。②中国語なら CPTH という中国語を勉強できるコースがあります。しかし、基本的には友達とよく喋れる場に入っていったり、自分で勉強していったりしながら、欧米人、香港人がどのように英語を話しているか、を感じ取って学んでいくことになると思います。</p> <p>勉学面: 教授との距離も近く、TAも必ずいるので、質問やついていけないという相談をしに行けば、丁寧に答えてくれます。仲良くすると、いろいろな面白いイベント、プロジェクトなどを紹介してもらえることもあるので、積極的に活用しましょう。</p> <p>精神面: 日本と同じようにカウンセリングセンターなどもあるようですが、ぼくは行っていません。多かれ少なかれ留学生活ではいろいろと悩むことも多いですが、日本人の友達などに相談すれば似たような感情を共有できて、不安も軽減されると思います。</p> <p>住居・生活面: アクセスがよくきれいな寮もある一方、アクセスの悪く古い寮もあります。ここばかりは運です。潔癖性気味の人には辛く感じる場所もあるようですが、どこでも大丈夫、のような人には全然気にならないレベルです。何か困ったら寮のおばさんにききにいか、同じフロアの人に聞きましょう。そこから友達になれたりします。</p> <p>いろいろ書きましたが、普通に日本の大学とサポートは同じようなものです。困ったら聞きに行く、ということができれば問題はありませぬ。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>田舎です。ここはまず頭にいれておきましょう。まあ、香港自体小さく、どこへ行くにも2時間あればいけますが、香港の中でも不便な場所にあるのは間違いないです。しかし、キャンパスは緑に溢れ、とても広くて開放感があり、中で生活も完結できるので、落ち着いて勉強するには最高の環境であると思います。</p> <p>香港大学とはカラーがだいぶ異なります。香港大学の学生は留学経験者なども多く、英語が上手らしいですが、比較的中文大学の学生は、ローカルのプライド、というか親しみやすい印象を受けます。</p> <p>日本人と関わる機会が僕の代は多かったですが、中文大学の人はエリートな雰囲気、の香港大学の人よりも変わった人が多いです。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人たちへのアドバイス</p>	<p>交換留学は、海外へわたって英語で勉強をする、というだけでなく、短期留学のプログラムがかなりガチガチに固められているのとは違って、9ヶ月という時間を有効に使って、自分次第でいろいろなことができます。</p> <p>自分は、たまたまお世話になっていた九大の先生が香港大学でPh.Dを取られていて、その時の人脈を紹介していただいて以来、人脈が人脈を呼び、本当にたくさんの、海外で活躍されている社会人の方とお話する機会に恵まれました。みなさまとの会話の中から、これから自分がどう生きるか、ということを考えるようになり、いろいろな人を受け入れる素地のある香港だからこそ、いろいろな人がいて、人生の幅が広がりました。</p> <p>ひとつ、気をつけるべきことは、香港人の英語はやはり欧米人の英語とは違う、ということです。彼らは十分になまっていますし、英語を話すスピードもそんなに早くありませんので、欧米人とたくさん話したい、という人は、交換留学生と仲良くなくてはなりません。しかし、ぼくは自分がアジア人であり、アジア人との共通項が多く、仲良くなりやすいので、アジア人と基本的に行動していました。かれらと話すときは、分かり合うことが一番で、あまりに早く英語を喋りすぎても伝わりません。やはりコミュニケーションの基本は、相手を思いやって相手の受け取りやすい形で自分の言葉を届けることにありますが、本当にそれをよく意識して英語を話すようになりました。みなさんもアジアで活躍したいという思いから、香港を選ばれているかもしれませんが、そういう練習の場としては、この留学は有意義なものになるだろうと思います。</p> <p>ぼくも留学の最初の方は、欧米人の英語の速さや、文化の違いに戸惑って、とても辛かったです。1,2ヶ月かけて徐々に慣れていけば肩の力も抜けて、素敵な友達にも出会えると思いますので、心配せずにぜひ留学を楽しんでください！</p>
<p><b>2. 事前手続き(ビザ申請など)</b></p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>学生ビザ</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>香港中文大学を通して</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>パスポート、証明写真、英文の貯金の証明書、同意書など</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>1ヶ月ほど</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	<p>コースの前予約: 日本と違って、コースに定員があるので、前予約をして、席を確保しておく必要があります。これについては、大学側から連絡があるので、それに従えばよいですが、結構な確率で予約しても落とされてしまうので、香港に来てから、授業追加期間に先着順の授業登録にて授業を選ぶことになることがおおいかもしれません。だいたい取りたい授業が取れるので、あまり心配は要りませんが、ビジネス系は少し面倒な書類作業があります。</p>



<p>お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金, またはクレジットカード持参など)について, 貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。</p>	<p>ぼくはお金を全部現金で持参しました。最初 80 万、追加で 50 万。こちらの恒生銀行で口座を作りましたが、できるまでに 1 ヶ月半もかかり、その間はずっと部屋で管理していました。部屋には鍵付きの棚があるので、そこで管理すれば問題ありません。最後本当にお金が足りなくなって、日本のゆうちょ銀行から恒生銀行に国際送金をしてもらいましたが、1 週間程度かかるので、注意が必要です。ぼくのやり方はあまりうまくないと思います。より良い方法としては、2 回手数料がかかりますが、新生銀行、Citi Bank などの国際キャッシュカードを作っておくことが有効だと思います。クレジットカードも旅行などの際や、お金がないときに重宝します。選択肢は必ず VISA か Master Card にしてください。</p>
<p><b>4. 住居、生活環境</b></p>	
<p>住居の種類(○印をつける)</p>	<p>・寮 ・ホームステイ ・民間アパート ・その他( )</p>
<p>住所／電話番号</p>	<p>S709, Flat 1, Shaw College, CUHK, Shatin, N.T. Hong Kong +852 5300 4439</p>
<p>費用(月額)</p>	<p>2 万円</p>
<p>どのようにして見つけたか</p>	<p>寮の種類は 3 種類あって、preference を聞かれます。そして、普通の学生は絶対寮に入るべきです。香港は外に住むと家賃が高すぎます。Preference は以下。 ① 寮の全員で週3回あつまって会食をする義務のある寮 ② 上記会食の義務のない寮 ③ International House (通称 i-House)とって、留学生がたくさん住んでいる寮 ①は綺麗で新しい寮です。②は古い寮が多いです。③は半々の確率で古いか新しいです。</p>
<p>次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。</p>	<p>ぼくの住んでいた shaw college は、駅からのアクセスが悪くて、あまりお勧めはできませんが、会食が強制されているのが嫌だったので、まあまあですかね(徒歩 20 分、23:30 までなら 10 分に一本の間隔でバスが通っていて、15 分ほどで着きます)。しかし、歴史のあるカレッジで、学生はとても自由に夜になっても寮内で騒いだりしています、うるさいこともしばしばですが、その分いろいろなイベントが月 2 回程度開かれていて、香港人学生の雰囲気強く感じることができます。</p>

<p>留学生を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報</p>	<p>一番近くの買い物スポットは、沙田という2駅となり、大学駅からは所要10分のところにあります。日本のショッピングモールのようなもので、なんでも揃いますし、ちょっと歩けば、IKEAがあつて、ベッド周りの用品はそこで手に入れます。遊ぶのでお勧めはCauseway bayです。Hung Hom駅から、112番、116番のバスに乗る方法でいくのが一番楽です。</p>
------------------------------------	--

**5. 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト**

サイト名	URL	コメント

**6. その他の特記事項**

--